

選択領域B「社会・地理歴史・公民各科授業力のパワーアップ」講習概要・時間割

1. 日 時 : 平成29年8月3日(木)～8月4日(金) 10:00～17:20(休憩時間を含む)

2. 募集人数 : 15名

3. 講習内容

中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科において、新学習指導要領も見据えながら、歴史教育や地図活用の方法、環境問題や世界経済の動向など今日的な問題を考える視点・方法を、講義あるいは演習を通して学び、授業力の向上を図る。

4. 時間割等(予定)

【8月3日(木)】

時限	講習題目	内容	担当講師
9:30～10:00	【受付】		
1時限目 10:00～11:30	環境問題を解決するための基本原則と理念	環境問題は時代とともに多様化しており、その解決方法にも変化が見られます。解決方法の多くを占める法政策を形作るための、基本原則と理念を明確にしておく必要があります。講義では、四大公害訴訟事件に代表される産業公害から、廃棄物処理、土壌汚染、都市景観、自然保護等の新しい環境問題に至るまで、様々な環境問題を採りあげながら、その解決方法の視点と今日的課題について理解を深めます。	奥田 進一 政経学部教授
2時限目 11:40～13:10			
13:10～14:00	【昼休み】		
3時限目 14:00～15:20	国際経済の現代的課題	トランプ大統領が誕生し、日本の成長戦略の要であったTPPは発効の目途が立たなくなりました。しかし、そもそも、なぜ、TPPが必要とされたのでしょうか。一方で、トランプ大統領を産みだした反グローバル化のうねりの根底には、格差の拡大があるとされています。なぜ、格差は広がっているのでしょうか。	服部 哲也 政経学部教授
4時限目 15:30～16:50		TPPの背後にあるグローバルな企業活動やトランプ大統領を誕生させたグローバル化と格差の問題など、国際経済の現代的課題について、最近の理論的・実証的な研究成果も踏まえながら、解説します。	
5時限目 17:00～17:20	修了試験(筆記試験)		

【8月4日(金)】

時限	講習題目	内容	担当講師
9:30～10:00	【受付】		
1時限目 10:00～11:20	地図の活用法	地形図を活用した学習を主題にし、地形図についての基礎と新しい動向を点検します。そして多摩の地形図を例に、都市の発達や土地利用の変化などの活用法や歴史学習での地図活用を考察します。	相澤 善雄 政経学部講師
2時限目 11:30～12:50		また、主題図という地図(地価や政治など)を作成し、その意味を分析しながら広く地図が活用できることを考えます。 作業を行いますので、色鉛筆(12色)、定規(30センチ)をご持参ください。	
12:50～13:40	【昼休み】		
3時限目 13:40～15:00	日本史研究の最新動向と歴史教育	古代・中世史を中心に日本史に関する最新の研究動向を紹介します。中学・高校の授業内容や教科書と関連するテーマだけではなく、やや専門的な背景知識にあたるようなテーマも取り上げ、より深い歴史理解を目指します。	戸川 点 国際学部教授
4時限目 15:10～16:30	これからの世界史教育	現行課程の世界史教育では、地理と日本史との関連付け、ESDの視点の導入、言語活動の充実といった改善が求められてきました。新課程では、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代史の考察などが求められています。そこで、こうした改善点について教材開発のポイントを整理しながら、講義と演習を通じて具体的な世界史の授業実践を構想します。新設される「歴史総合」の性格や内容構成についても、明らかになっている範囲で触れます。	三木 健詞 政経学部教授
5時限目 16:40～17:20	修了試験(筆記試験)		

※ 各時限の担当講師・内容は変更となる場合があります。